

平成 27 年度東京都自立支援協議会第二回本会議全体会①概要

場所：東京都心身障害者福祉センター 三階第 2 研修室

【出席委員】

沖倉会長、高沢副会長、海老原副会長、河井委員、近藤委員、柴田委員、鈴木委員、平川委員、古川委員、本多委員、山梨委員、吉澤委員、和田委員

【欠席委員】

伊野委員、岩浅委員、加藤委員、下川委員、内藤委員

1 開会

2 東京都心身障害者福祉センター所長挨拶 藤井所長

事務局(小林課長) 資料の確認

- ・ 会議次第
- ・ 資料 1 委員名簿、裏面グループ討議名簿
- ・ 資料 2 ワークシート
前回配布したものを修正。
 - ◇ 修正点はモニタリングの欄、モニタリング・アクセスとなっていたものをモニタリングに変更。
 - ◇ 再アセスメントを消し、矢印をアセスメントの欄まで持っていき、必要に応じて再アセスメントを行う。循環を正しく表記する。
 - ◇ 左端に<連携>、下部に<地域を作る>という枠を新たに作る。前回の討議をふまえ、多くの意見があったため。
- ・ 資料 3 自立支援協議会交流会実施報告
- ・ 資料 4 平成 27 年度 東京都自立支援協議会セミナー企画(案)
- ・ 資料 5 平成 27 年度 動向集骨子(案)

参考資料 1 計画相談支援関連データ：都道府県別実績

参考資料 2 計画相談支援関連データ：区市町村別実績

委員提出資料

以上

委員提出資料、鈴木委員から説明。

鈴木委員 提出した資料は、前回のグループ討議の人材育成の中で計画相談支援の書式について話題となった。議論の参考として、勤務先の地域支援センターで作成した計画相談用の書式を提出した。サービス利用計画用書式、モニタリング用書式を独自に開発、国の事務処理要領に記載されていなければならない事項は満たしている。

3 議事

沖倉会長

本日のグループ討議の進め方についての説明。

前回、ワークシートを使い、相談支援、サービス管理等責任者、行政が相談支援を行うにあたって求められる視点や行動について話し合った。

第四期は東京都における求められる人物像を明らかにすることが今年、来年度の課題となり、そのための作業を続ける。

議論を焦点化するため以下の三つのテーマで話し合ってください。

- ・モニタリング
- ・エンパワメント
- ・ネットワーキング

交流会事前アンケート、交流会の議論で、エンパワメント、ストレンクス、ネットワークという発言が多くある、改めてその中身をはっきりと説明できない、抽象的な発言が多い。支援を行う際、どのような視点を大切にしているのか、連携、信頼関係の構築などについて、具体的にどのように行っているかを明らかにし、話をしてください。

モニタリングについて、前回の本会議では意見がほとんど出てこなかった。これからモニタリングを重ねていく段階で、具体的行動をたずねられた時に難しいと思われる。どういうモニタリングを当事者が求めている、また、我々がどうすべきなのか意識して考えていただきたい。

本日の議論を踏まえ、中間報告をセミナーで発表予定。本日の議論のまとめについては事務局と会長、副会長で調整し、委員の方にメール等で確認させていただく。皆さんの発言を資料 2 のワークシートの枠に落としていくと考えていただければと思います。